

CHINO

パラメータ設定ソフト P A S S

取扱説明書

INSTRUCTIONS

このたびは、パラメータ設定ソフトPASSをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本ソフトを正しく安全に、かつトラブルを未然に防ぐため、ご使用前に本取扱説明書を充分にお
読みの上、正しくお使いくださるようお願い申し上げます。

お断わり

1. 本書の全部、または一部を無断で複製、または転載することを禁じます。
2. 本書の記載内容は、お断わりなく変更する場合がありますので、ご了承下さい。
3. 本書の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどあり
ましたら、最寄りの当社支店・営業所までお申し出て下さい。
4. 運用した結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承下さい。

Windows, Excelは、米国Microsoft 社の登録商標です。
その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

目次

1. 概 要.....	1
2. インストールと削除.....	2
2-1 インストール方法.....	2
2-2 アンインストール（削除）方法.....	3
3. P A S S の起動.....	4
3-1 P A S S の起動方法.....	4
3-2 P A S S の終了	4
4. 操作	5
4-1 起動時の動作.....	5
4-1-1 通信条件選択	5
4-2 機器選択画面.....	6
4-3 設定メニュー画面.....	7
4-3-1 A L 3 0 0 0 / A H 3 0 0 0 の場合	7
4-3-2 B R シリーズの場合	8
4-3-3 S E 3 0 0 0 の場合.....	9
4-3-4 L T シリーズの場合	10
4-3-5 J U の場合.....	11
4-3-6 J W の場合.....	12
4-3-7 K E 3 0 0 0 の場合.....	13
4-3-8 L E 5 0 0 0 の場合.....	14
4-3-9 K R 2 0 0 0 ・ 3 0 0 0 の場合	15
4-3-10 K P 1 0 0 0 ・ 2 0 0 0 ・ 3 0 0 0 の場合.....	16
4-3-11 D B 1 0 0 0 ・ 2 0 0 0 の場合	17
4-4 各画面の操作の基本.....	18
4-4-1 表形式の設定画面の操作.....	18
4-4-2 選択形式の設定画面.....	19
4-5 ファイル格納（SAVE）	20
4-6 ファイル読み出し（LOAD）	20
4-7 データ一覧	21
5. ご注意.....	22
5-1 異常終了時の処理.....	22
5-2 バージョンアップするときのご注意	22

1. 概 要

PASSは、ほかのWindowsアプリケーションと同様、パソコンのハードディスクへのインストール作業が必要です。CDから直接起動することはできません。

△ 注 意

PASSをバージョンアップされる場合は、2-2にしたがって、インストールの前に旧バージョンのPASSをアンインストールしてください。

[動作環境]

<ハードウェア>

CPU	ご使用のOSの推奨以上
メモリー	ご使用のOSの推奨以上
ディスクドライブ	CD-ROMドライブ : 1ドライブ以上(インストール時に必要) ハードディスクドライブ: 空き容量が100MB以上のものが1ドライブ以上
通信ポート	●MODBUS 機器との接続 Windows がサポートしている通信ポート COM1～COM9 いずれか1ポート ●イーサネット機器との接続 LANポート (10base-T / 100base-TX) が装備してあること ●USB 機器との接続 USB が装備してあること

<ソフトウェア>

・OS Windows XP / Windows Vista / Windows 7

※ Internet Explorer4.0以降が必要です。

[対応機器]

次の機器とパソコンを通信インターフェイスで接続し、パソコン上でパラメータ設定を行います。

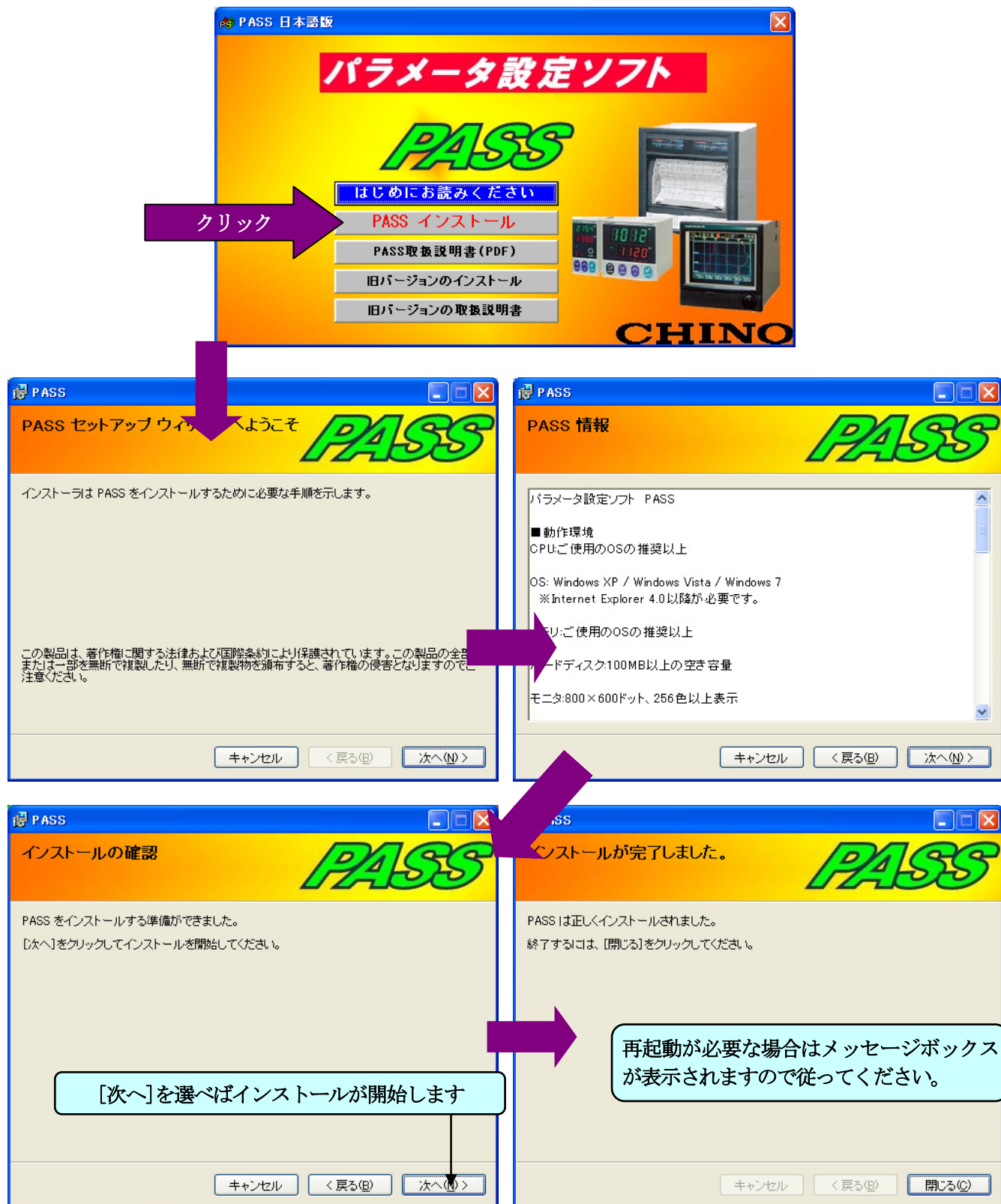
- ・グラフィックレコーダ BRシリーズ、KR2000、3000シリーズ
- ・180mmハイブリッド記録計 AH3000シリーズ
- ・100mmハイブリッド記録計 AL3000シリーズ
- ・増設形スキャナ SE3000シリーズ
- ・単相サイリスタレギュレータ JUシリーズ
- ・三相サイリスタレギュレータ JWシリーズ
- ・ネットワークロガー KE3000シリーズ
- ・250mmハイブリッド記録計 LE5000シリーズ
- ・デジタル指示調節計 LTシリーズ、DB1000、2000
- ・デジタルプログラム調節計 KP1000、2000、3000

注 意 : 各機種とも通信インターフェイス (RS232C、RS422A、RS485、イーサネット、USB) が必要です。

2. インストールと削除

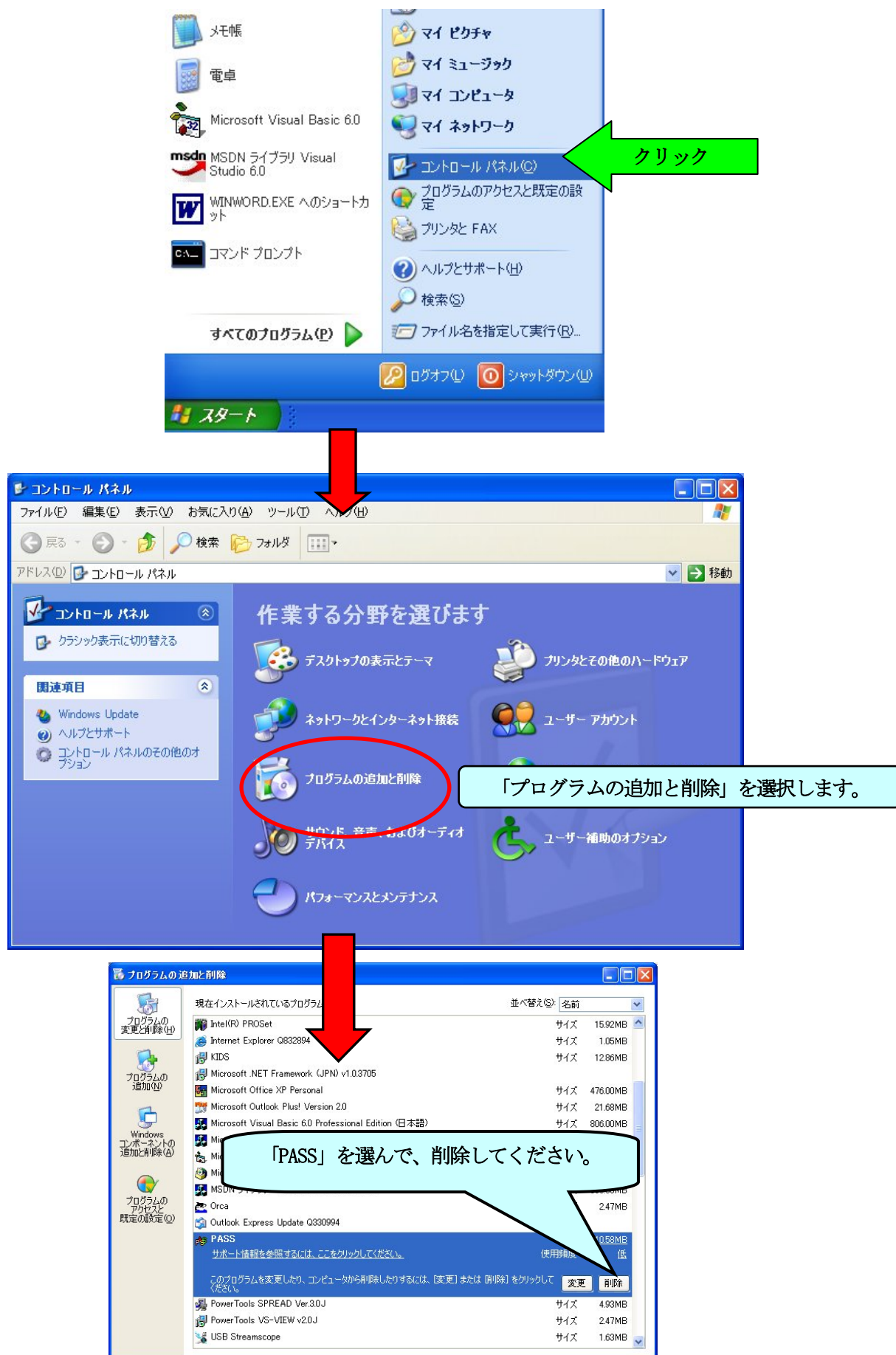
2-1 インストール方法

「PASS インストール」をクリックしてください。インストール画面が表示されます。
下図に示す画面に従って進めてください。



2-2 アンインストール（削除）方法

Windows のタスクバーから「スタート」―「コントロールパネル」をクリックします。



3. P A S S の起動

3-1 P A S S の起動方法

Windows のタスクバーから「スタート」—「すべてのプログラム」—「CHINO」—「PASS」をクリックすると「PASS」が起動します。



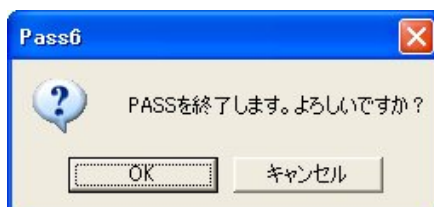
3-2 P A S S の終了

PASSの終了は、機器選択画面の

- ①「終了」をクリックする。
 - ②タイトルバー右端の「×」をクリックする。
- の2つの方法で行います。



いずれの場合も、終了の確認メッセージがでて、「OK」をクリックすると、PASS が終了します。



4. 操作

4-1 起動時の動作

PASSを起動すると、通信条件選択が表示されます。

4-1-1 通信条件選択

通信条件の選択は、次の2つがあります。

①機器通信ポートの選択・・・機器の上位通信ポートから設定を行うか、エンジニアリングポートから行うかを選択します。

⚠ 注意

エンジニアリングポートから設定を行うときは、別途専用ケーブル（形式RZ-EC1）が必要です。機器の通信インターフェースの取扱説明書を参照の上、機器側の設定も行ってください。

②PC通信ポートの選択

- MODBUSの場合・・・パソコンのRS232CポートのCOM番号、上位通信のプロトコル、上位通信の種類、通信速度（ビットレート）を選択します。

※PASSは、MODBUSプロトコルのRTUモードかASCIIモードで設定を行います。

⚠ 注意

当社データ集録ソフトKIDSは、RTUモード固定です。機器の通信インターフェースの取扱説明書を参照の上、機器側の設定も行ってください。

- イーサネットの場合・・・IPアドレス、ポート番号を入力します。
- U S B の 場 合・・・USB機器アドレスを選択します。

4-2 機器選択画面

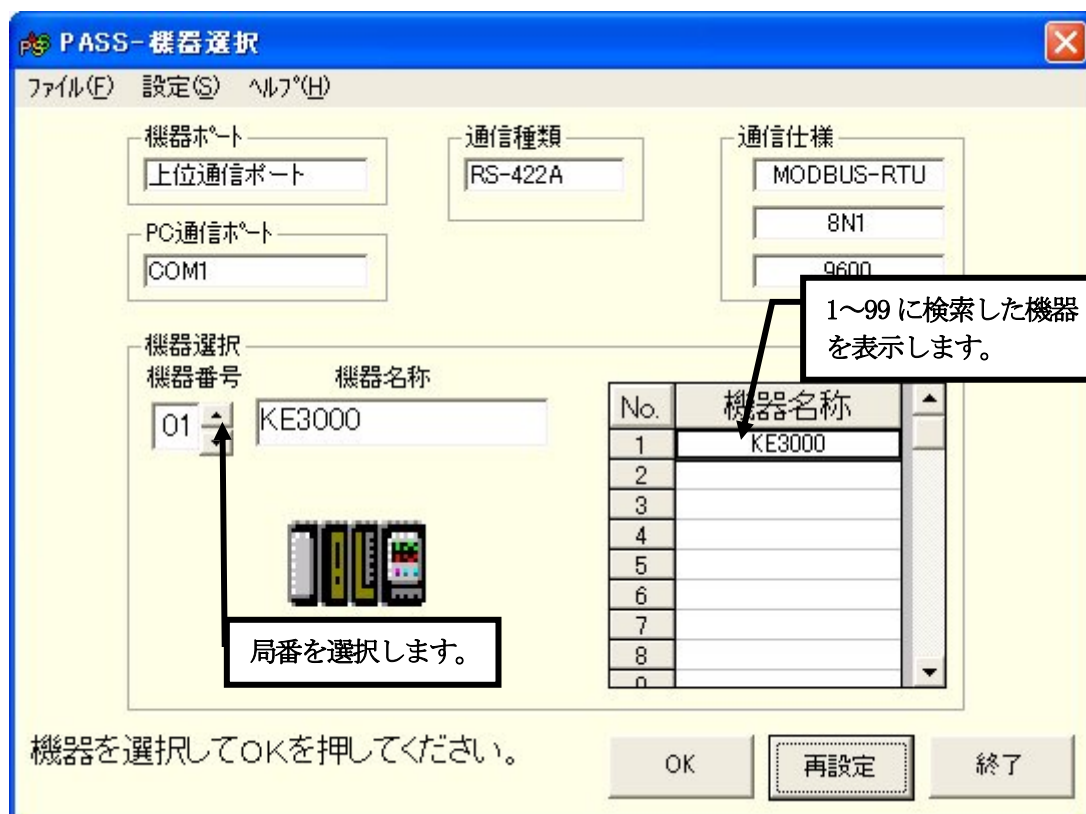
以上の設定が終了すると、自動的に接続機器を検索します。

検索は、RS232Cやエンジニアリングポートの場合は、局番1のみ行います。

RS422AおよびRS485やUSBの場合は、1から99まで4-1-1で入力した範囲で検索します。
イーサネットは入力したIPアドレスのみ行います。

検索結果が機器選択画面に表示されますので、その中から設定を行う局番の機器を選択して、「OK」をクリックします。

設定を行いたい機器が検索されない場合は、①通信ケーブルの確認 ②通信設定（機器側、PC側）を確認し、「再設定」をクリックしてください。



メニューバーの設定(S)で、

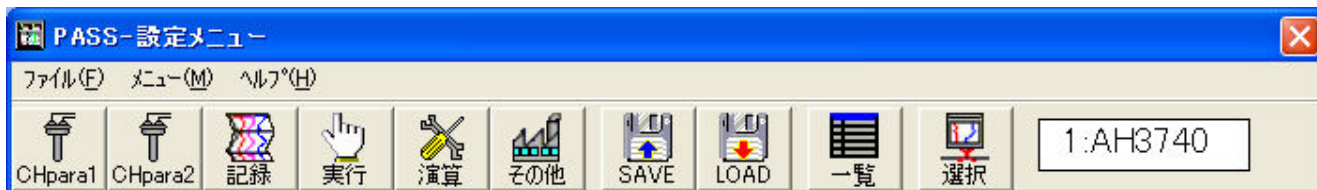
「機器から読み出し」を選ぶと機器から現在の設定値の読み出しが行われ、機種ごとのメニュー画面が表示されます。設定を行いたい項目のボタンをクリックしてください。（4-3-1以降参照）

「ファイルから読み出し」を選ぶと、機種ごとのメニューの「SAVE」で作成されたファイルから機器設定を読み出しが行われ、メニュー画面が表示されます。
設定を行いたい項目のボタンをクリックしてください。（4-3-1以降参照）

※機器から読み出しを行わないため、初回の起動が速くなります。

4-3 設定メニュー画面

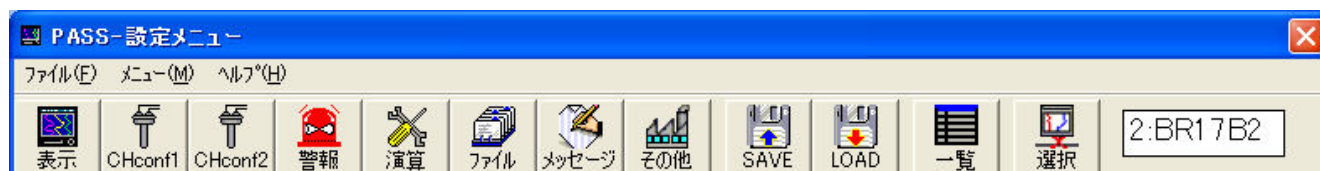
4-3-1 AL3000/AH3000の場合



各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。

ボタン	設定項目
 CHpara1	CHパラメータの設定1 ①入力種類 ②レンジ・スケール ③RJあり・なし ④警報 ⑤バーンアウト
 CHpara2	CHパラメータの設定2 ①タグ ②単位 ③色
 記録	記録パラメータの設定 ①紙送り速度・データインターバル ②差記録 ③記録フォーマット (自動レンジ切替、部分圧縮拡大、並列目盛)
 実行	印字・操作 ①FEED操作 ②リスト印字操作 ③タイトル印字操作 ④データプリント操作 ⑤タイトル文字設定 ⑥メッセージ印字操作 ⑦メッセージ文字設定 ※⑥、⑦は、ペン式のみです。
 演算	演算パラメータの設定 ①データ通信入力 ②算術演算各種 ③温湿度演算 ※設定できる演算は機器の仕様によります。
 その他	その他の設定 ①温度単位(℃, °F→輸出用) ②高速打点 (打点式) ③警報不感帯 ④機器時計 ⑤上位通信仕様 ⑥時間軸同期 ⑦警報リレー設定 ⑧外部駆動機能 ⑨入力フィルタ ⑩リニアライズ ※設定できる演算は機器の仕様によります。 ⑤は、エンジニアリングポートからの設定のみ行えます。 ⑥～⑨は、ペン式のみです。
 SAVE	FD、HDへの設定値ファイルの格納 機器から読み出した設定値をFDやHDに保存します。
 LOAD	FD、HDからの設定値ファイルを読み出し SAVEで保存した設定値を読み出します。 パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。 機器への一括送信は、一覧の「送信」で行ってください。
 一覧	機器の設定値の一覧表示 ①設定値の印刷 (プリンタ, 印刷方法の選択、プレビュー) ②ファイル保存 (Excel, TXT, CSV 形式で保存) ③一括送信 (表示されている設定値を機器に一括送信します)
 選択	機器選択画面へ戻る 現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。

4-3-2 B R シリーズの場合











各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。

ボタン	設定項目
 表示	画面パラメータの設定 ①画面選択 ②グループ設定 ③リアルトレンド画面設定 ④バーグラフ画面設定 ⑤データ画面設定
 CHconf1	CHパラメータ1の設定 ①入力種類 ②レンジ・スケール ③R J あり・なし ④バーンアウト
 CHconf2	CHパラメータ2の設定 ①タグ ②単位 ③表示色 ④表示スケール
 警報	警報パラメータの設定 ①種類 ②設定値 ③出力リレー 等
 演算	演算パラメータの設定 ①データ通信入力 ②算術演算各種 ③温湿度演算 等 ※設定できる演算は機器の仕様によります。
 ファイル	ファイル設定 最大5つのファイルを設定します。 ①ファイル種類 ②ファイル名 ③ファイル容量 ④保存CH ⑤トリガ条件 ⑥日報設定
 メッセージ	メッセージの設定・操作 ①文字設定 ②印字操作
 その他	その他の設定 ①ガイド言語 ②温度単位(℃, °F→輸出用) ③時計設定 ④時計表示形式 ⑤スクリーンセーバー ⑥表示輝度 ⑦操作ロック ⑧外部駆動 ⑨ステータス出力 ⑩上位通信 ⑪下位通信 ⑫下位通信接続機器 ※設定できる項目は機器の仕様によります。 ※⑩は、エンジニアリングポートからの設定のみ行えます。
 SAVE	FD、HDへの設定値ファイルの格納 機器から読み出した設定値をFDやHDに保存します。
 LOAD	FD、HDからの設定値ファイルを読み出し SAVEで保存した設定値を読み出します。 パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。
 一覧	機器の設定値の一覧表示 ①設定値の印刷 (プリンタ, 印刷方法の選択、プレビュー) ②ファイル保存 (Excel, TXT, CSV 形式で保存)
 選択	機器選択画面へ戻る 現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。

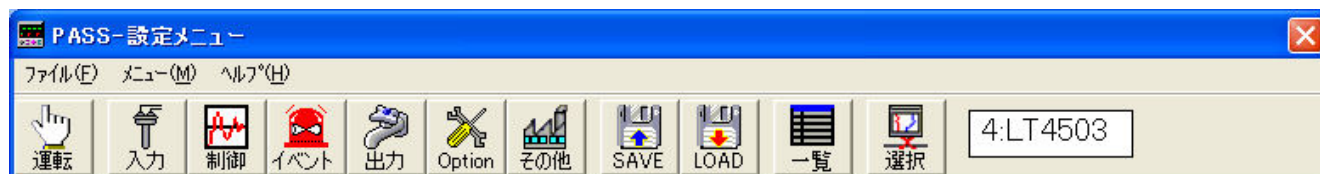
4-3-3 SE3000の場合



各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。

ボタン	設定項目
 CHpara	CHパラメータの設定 ①入力種類 ②レンジ・スケール ③R J あり・なし ④警報 ⑤バーンアウト
 差演算	差演算パラメータの設定
 演算	演算パラメータの設定 ①算術演算各種 ②温湿度演算
 その他	その他の設定 ①温度単位(°C, °F→輸出用) ②警報不感帯 ③上位通信仕様 ※設定できる演算は機器の仕様によります。 ※③は、エンジニアリングポートからの設定のみ行えます。
 SAVE	FD、HDへの設定値ファイルの格納 機器から読み出した設定値をFDやHDに保存します。
 LOAD	FD、HDからの設定値ファイルを読み出し SAVEで保存した設定値を読み出します。 パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。 機器への一括送信は、一覧の「送信」で行ってください。
 一覧	機器の設定値の一覧表示 ①設定値の印刷 (プリンタ, 印刷方法の選択、プレビュー) ②ファイル保存 (Excel, TXT, CSV 形式で保存) ③一括送信 (表示されている設定値を機器に一括送信します)
 選択	機器選択画面へ戻る 現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。

4-3-4 LT シリーズの場合



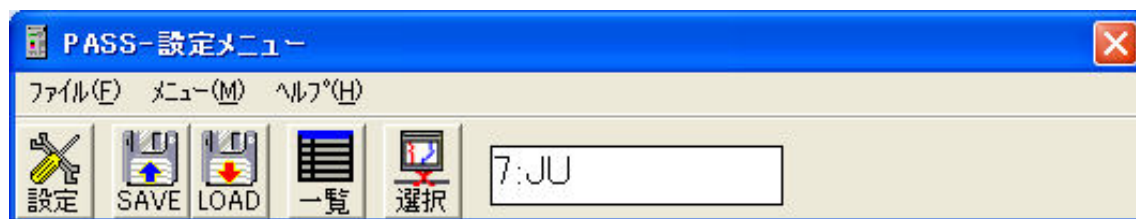
各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。

ボタン	設定項目
 運転	運転パラメータの設定 ①SV選択 ②SV, P I D、イベント設定 ③RUN/READY 操作 ④AUTO/MANUAL 操作 ⑤オートチューニング 開始 ⑥目標値フィルタ設定 ⑦キーロック
 入力	入力パラメータの設定 ①入力種類 ②温度単位 ③レンジ・スケール ④PV, SV小数点 ⑤センサ補正 ⑥デジタルフィルタ ⑦偏差不感帯 ⑧バーンアウト
 制御	制御パラメータの設定 ①SV, P I D、不感帯 ②勾配設定、勾配単位、PVスタート ③SVリミッタ ④ARW (アンチ リセット ワインドアップ), 出力プリセット
 イベント	イベントパラメータの設定 ①モード、不感帯、位相、ディレイ ②イベント設定値、待機 ③Ready 時動作
 出力	出力パラメータの設定 ①出力リミッタ、変化量リミッタ ②F B設定 ③停電時動作 ④制御正/逆 ⑤PVエラー出力、プリセット (Ready 時出力) 、パルス周期
 Option	オプションパラメータの設定 ①外部駆動機能 ②伝送出力 ③リモート入力
 その他	その他のパラメータの設定 ① 加熱/冷却、整合器 ②冷却不感帯、比例帯係数、パルス周期 ③ 整合器パラメータ
 SAVE	F D、H Dへの設定値ファイルの格納 機器から読み出した設定値をF DやH Dに保存します。
 LOAD	F D、H Dからの設定値ファイルを読み出し SAVEで保存した設定値を読み出します。 パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。 機器への一括送信は、一覧の「送信」で行ってください。
 一覧	機器の設定値の一覧表示 ①設定値の印刷 (プリンタ, 印刷方法の選択、プレビュー) ②ファイル保存 (Excel, TXT, CSV 形式で保存) ③一括送信 (表示されている設定値を機器に一括送信します)
 選択	機器選択画面へ戻る 現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。






※ 部はLT200/300/800 では設定できません。

※各項目とも機器の仕様によっては設定できない項目があります。

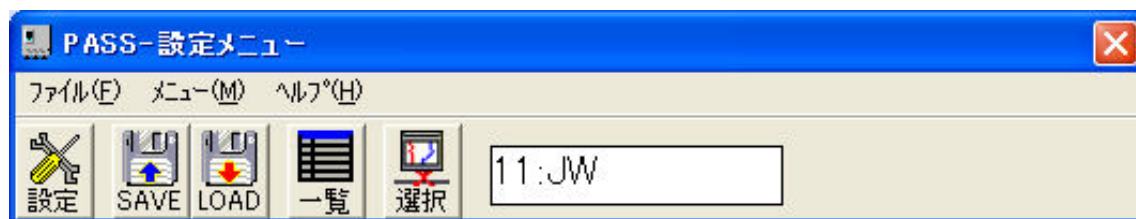
4-3-5 J Uの場合





各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。

ボタン	設定項目
 設定	パラメータの設定 ①AUTO / MANUAL ②設定値 ③位相/分周 ④電流制限機能 ⑤断線警報機能 ⑥キーロック ⑦運転 / 停止
 SAVE	F D、H Dへの設定値ファイルの格納 機器から読み出した設定値をF DやH Dに保存します。
 LOAD	F D、H Dからの設定値ファイルを読み出し S A V Eで保存した設定値を読み出します。 パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。 機器への送信は、各画面の「送信」で行ってください。
 一覧	機器の設定値の一覧表示 ①設定値の印刷（プリンタ, 印刷方法の選択、プレビュー） ②ファイル保存（Excel, TXT, CSV 形式で保存） ③一括送信（表示されている設定値を機器に一括送信します）
 選択	機器選択画面へ戻る 現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。

4-3-6 JWの場合











各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。

ボタン	設定項目
 設定	パラメータの設定 ①運転・制御・出力方式・警報・フィードバック ②勾配・エレベーション・ソフトスタート時間・SV上限・下限値 ③断線警報・電流制御・不平衡警報 ④パルス周波数・電流・電圧・電力・キーロック
 SAVE	FD、HDへの設定値ファイルの格納 機器から読み出した設定値をFDやHDに保存します。
 LOAD	FD、HDからの設定値ファイルを読み出し SAVEで保存した設定値を読み出します。 パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。 機器への送信は、各画面の「送信」で行ってください。
 一覧	機器の設定値の一覧表示 ①設定値の印刷（プリンタ, 印刷方法の選択、プレビュー） ②ファイル保存（Excel, TXT, CSV 形式で保存） ③一括送信（表示されている設定値を機器に一括送信します）
 選択	機器選択画面へ戻る 現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。

4-3-7 KE3000の場合














各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。

ボタン	設定項目
 CHpara	CHパラメータの設定 ①入力種類 ②レンジ・スケール ③R J あり・なし ④警報 ⑤バーンアウト ⑥センサ補正 ⑦デジタルフィルタ
 出力	リレー出力の設定 ①警報ビットマスク ②ON/OFF ディレイ時間 ③位相
 パルス	CHごとにパルス積算リセットをおこないます。
 その他	その他の設定 (通信の設定) ①USB 通信仕様 ②エンジポート通信仕様 ③上位通信仕様 ※①はエンジポートと上位通信から設定可能。 ※②はUSB と上位通信から設定可能。 ※③はUSB とエンジポートから設定可能。
 SAVE	FD、HDへの設定値ファイルの格納 機器から読み出した設定値をFDやHDに保存します。
 LOAD	FD、HDからの設定値ファイルを読み出し SAVEで保存した設定値を読み出します。 パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。 機器への一括送信は、一覧の「送信」で行ってください。
 一覧	機器の設定値の一覧表示 ①設定値の印刷 (プリンタ, 印刷方法の選択、プレビュー) ②ファイル保存 (Excel, TXT, CSV 形式で保存) ③一括送信 (表示されている設定値を機器に一括送信します)
 選択	機器選択画面へ戻る 現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。

4-3-8 LE5000の場合



各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。

ボタン	設定項目
 CHpara1	CHパラメータ1の設定 ①入力種類 ②レンジ・スケール ③R J あり・なし ④警報 ⑤バーンアウト ⑥センサ補正 ⑦デジタルフィルタ
 CHpara2	CHパラメータ2の設定 ①タグ ②単位
 打点	打点パラメータの設定 ①入力CH ②文字色 ③記録ON・OFF
 記録	記録パラメータの設定 ①紙送り速度 ②データインターバル ③記録フォーマット (自動レンジ切換、部分圧縮拡大、並列目盛)
 実行	印字・操作 ①FEED操作 ②リスト印字操作 ③データプリント操作 ④メッセージ印字操作 ⑤メッセージ文字設定
 演算	演算パラメータの設定 ①データ通信入力 ②算術演算各種 ③温湿度演算 ④差演算 など ※設定できる演算は機器の仕様によります。
 その他	その他の設定 ①表示仕様 ②機器時計 ③下位通信仕様・下位接続機器 ④外部駆動機能 ※設定できる項目は機器の仕様によります。
 SAVE	FD、HDへの設定値ファイルの格納 機器から読み出した設定値をFDやHDに保存します。
 LOAD	FD、HDからの設定値ファイルを読み出し SAVEで保存した設定値を読み出します。 パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。 機器への一括送信は、一覧の「送信」で行ってください。
 一覧	機器の設定値の一覧表示 ①設定値の印刷 (プリンタ, 印刷方法の選択、プレビュー) ②ファイル保存 (Excel, TXT, CSV 形式で保存) ③一括送信 (表示されている設定値を機器に一括送信します)
 選択	機器選択画面へ戻る 現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。

4-3-9 KR2000・3000の場合



各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。






ボタン	設定項目
 CHpara1	CHパラメータの設定1 ①入力種類 ②レンジ・スケール ③RJあり・なし ④警報 ⑤バーンアウト
 CHpara2	CHパラメータの設定2 ①タグ ②単位 ③表示色 ④表示スケール
 演算	演算パラメータの設定
 表示	画面パラメータの設定 ①グループ設定 ②トレンド画面設定 ③バーグラフ画面設定 ④ゾーン使用 ⑤数値表示更新周期 ⑥スクリーンセーバー ⑦背景色 ⑧時刻表示形式
 ファイル	ファイル設定 ①集録周期 ②トリガ条件 ③ファイル形式 ④フォルダ ⑤スケジュール ⑥ファイルサイズ
 メッセージ	メッセージの設定
 E-mail	メールの設定 ①転送アドレス ②転送条件 ③送信CH ④アカウント ⑤ポート番号
 その他	その他の設定 ①ガイド言語 ②グループ数 ③小数点 ④キーロック ⑤機器名称 ⑥時計設定 ⑦イーサネット ⑧積算リセット ⑨上位通信 ⑩下位接続機器 ⑪FTP ⑫SNTP
 SAVE	FD、HDへの設定値ファイルの格納 機器から読み出した設定値をFDやHDに保存します。
 LOAD	FD、HDからの設定値ファイルを読み出し SAVEで保存した設定値を読み出します。 パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。 機器への一括送信は、一覧の「送信」で行ってください。
 一覧	機器の設定値の一覧表示 ①設定値の印刷 (プリンタ, 印刷方法の選択、プレビュー) ②ファイル保存 (Excel, TXT, CSV 形式で保存) ③一括送信 (表示されている設定値を機器に一括送信します)
 選択	機器選択画面へ戻る 現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。

※各項目とも機器の仕様によっては設定できない項目があります。

4-3-10 KP1000・2000・3000の場合



各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。

ボタン	設定項目
 運転	<p>運転パラメータの設定</p> <p>①SV、PID、警報設定 ②出力リミット、変化量リミット ③ARW ④出力プリセット</p> <p>⑤センサ補正・補助出力・SVシフト ⑥運転ステータス ⑦操作ロック</p>
 パターン	<p>パターン及びステップの設定。</p> <p>①SV・時間・ステップ繰り返し</p> <p>②PID No、警報 No、ARW No、出力 No、センサ補正 No、実温度補償 No、待時間 No、タイムシグナル No。</p> <p>③終了時出力 ④パターンリンク ⑤パターン繰り返し</p> <p>⑥SVリミット ⑦時間単位 ※各パターンのグラフ表示、jpg 保存ができます。</p>
 制御	<p>制御パラメータの設定 ※KP3000 では表示されません。</p> <p>①P、I、D SV区間 ②センサ補正 ③ARW</p> <p>④AT 2、3 ⑤PID切替 ⑥PID出力、ギャップ、不感帯</p>
 警報	<p>警報1～4の設定 ※KP3000 では表示されません。</p> <p>①モード ②設定値1～8 ③不感帯 ④ディレイ</p>
 出力	<p>出力パラメータの設定 ※KP3000 では表示されません。</p> <p>①出力リミット、変化量リミット ②PVエラー出力 ③FB設定</p> <p>④制御正/逆 ⑤制御方式 ⑥プリセット</p>
 入力	<p>入力パラメータの設定</p> <p>①入力種類、RJ ②レンジ/スケール ③デジタルフィルタ ④温度単位 ⑤PV小数点</p> <p>※KP3000 の場合は、SVの設定。スケールのみ設定できます。</p>
 伝送	<p>伝送、DI・DOの設定</p> <p>①アナログ伝送、デジタル伝送 ②DI・DO設定</p>
 8種	<p>8種パラメータの設定</p> <p>①P、I、D、警報1～4 ②ARW ③出力リミット、変化量リミット</p> <p>④出力プリセット ⑤センサ補正 ⑥タイムシグナル</p> <p>⑦実温度補償 ⑧ウェイトタイム ⑨補助出力</p>
 SAVE	<p>FD、HDへの設定値ファイルの格納</p> <p>機器から読み出した設定値をFDやHDに保存します。</p>
 LOAD	<p>FD、HDからの設定値ファイルを読み出し</p> <p>SAVEで保存した設定値を読み出します。</p> <p>パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。</p> <p>機器への一括送信は、一覧の「送信」で行ってください。</p>
 一覧	<p>機器の設定値の一覧表示</p> <p>①設定値の印刷（プリンタ、印刷方法の選択、プレビュー）</p> <p>②ファイル保存（Excel、TXT、CSV形式で保存）</p> <p>③一括送信（表示されている設定値を機器に一括送信します）</p>
 選択	<p>機器選択画面へ戻る</p> <p>現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。</p>

※各項目とも機器の仕様によっては設定できない項目があります。

4-3-11 DB1000・2000の場合



各ボタンとその設定項目は、以下のとおり。

ボタン	設定項目
 運転	運転パラメータの設定 ①SV, PID、警報設定 ②運転ステータス ③操作ロック
 SV	SVの設定 ①目標SV・変化率・勾配単位・SVリミッタ ②リモートスケール、リモートシフト、リモートフィルタ ③カスケード定数 r, b ④トラッキング
 制御	制御パラメータの設定 ①P, I, D SV区間 ②センサ補正 ③ARW ④AT 2、3 ⑤PID切替、ループ判定時間
 警報	警報1～4の設定 ①モード ②設定値1～8 ③不感帯 ④ディレイ
 出力	出力パラメータの設定 ①出力リミッタ、変化量リミッタ ②PVエラー出力 ③FB設定 ④制御正/逆 ⑤制御方式 ⑥プリセット
 入力	入力パラメータの設定 ①入力種類、RJ ②レンジ/スケール ③デジタルフィルタ ④温度単位 ⑤PV小数点
 伝送	伝送、DI・DOの設定 ①アナログ伝送、デジタル伝送 ②DI・DO設定
 8種	8種パラメータの設定 ①P, I, D、警報1～4 ②ARW ③出力リミッタ、変化量リミッタ ④出力プリセット ⑤センサ補正 ⑥タイムシグナル ⑦実温度補償 ⑧ウェイトタイム ⑨補助出力
 SAVE	FD、HDへの設定値ファイルの格納 機器から読み出した設定値をFDやHDに保存します。
 LOAD	FD、HDからの設定値ファイルを読み出し SAVEで保存した設定値を読み出します。 パソコン上に読み出すだけで、機器に送信は行いません。 機器への一括送信は、一覧の「送信」で行ってください。
 一覧	機器の設定値の一覧表示 ①設定値の印刷 (プリンタ, 印刷方法の選択、プレビュー) ②ファイル保存 (Excel, TXT, CSV 形式で保存) ③一括送信 (表示されている設定値を機器に一括送信します)
 選択	機器選択画面へ戻る 現在の機器の設定を終了し、違う機器の設定を行うときにクリックします。

※各項目とも機器の仕様によっては設定できない項目があります。

4-4 各画面の操作の基本

設定は、表形式での設定方法と選択形式での設定方法があります。

4-4-1 表形式の設定画面の操作

表形式の設定画面の操作は以下の手順で行います。

- ①変更したいセル（場所）をクリックします。（キーボードから数値入力可能。）
- ②設定用ウィンドウで、設定変更または、リストから選択します。
- ③変更するセルの設定が終わったら、送信ボタンを押し、機器に設定値を送信します。

例：KE3000のCHパラメータ設定画面

PASS-CHパラメータ

	入力種類	RJ	レンジ 下限値	レンジ 上限値	レンジ 小数点	スケール 下限値	スケール 上限値	スケール 小数点
CH 1	V	外部	-1.250	1.250	3	-1.250	1.250	3
CH 2	K	内部	0	0	1	-200.0	500.0	1
CH 3	J	内部	200.0	500.0	1			
CH 4	N	内部	0.0	1300.0	1			
CH 5		外部	-1.250	1.250	3	-1.250	1.250	3
CH 6	V	外部	-1.250	1.250	3	-1.250	1.250	3
CH 7	mV	外部	-80.00	80.00	2	-80.00	80.00	2
CH 8	V	外部	-1.250	1.250	3	-1.250	1.250	3
CH 9		外部	50.0	50.0	1	-50.0	50.0	1
CH 10		外部	100.0	130.0	1	-100.0	130.0	1
CH 11	V	外部	-1.250	1.250	3	-1.250	1.250	3
CH 12	V	外部	-1.250	1.250	3	-1.250	1.250	3

設定値を機器に送信します。

設定をCH単位でコピーするときをクリックします。

数値入力ウィンドウが表示され、マウスで数値入力が可能です。

設定値の変更を行いたい時は、セルをクリックし、設定値を入力します。

⚠ 注意

「送信」操作を行わないと、機器への設定は行われません。
「送信」操作を行った後で、「EXIT」操作をしても、機器の元の設定状態には戻りません。

⚠ 注意

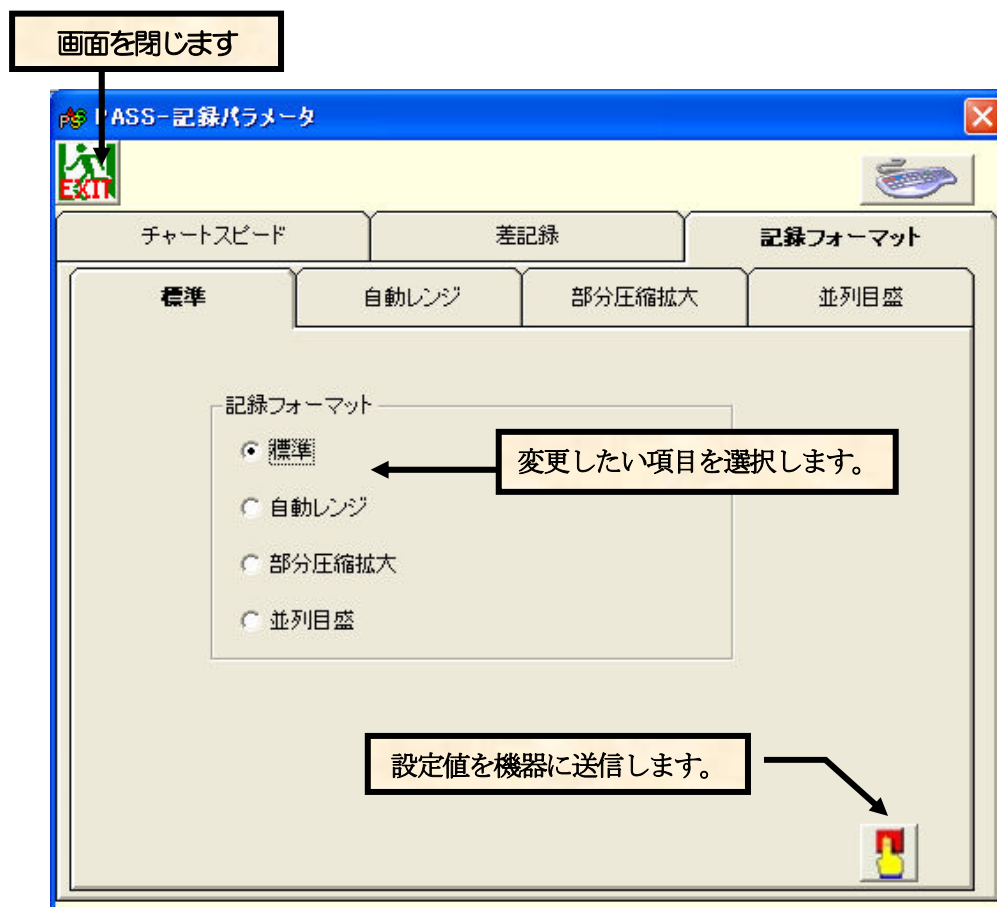
設定に関しては、以下の注意があります。
単位は、単なる記号です。単位を℃から°Fに変更しても温度単位系には影響しません。

4-4-2 選択形式の設定画面

選択形式の設定画面の操作は以下の手順で行います。

- ①変更したい項目を選択（シングルクリック）します。
- ②送信ボタンを押し、機器に設定値を送信します。

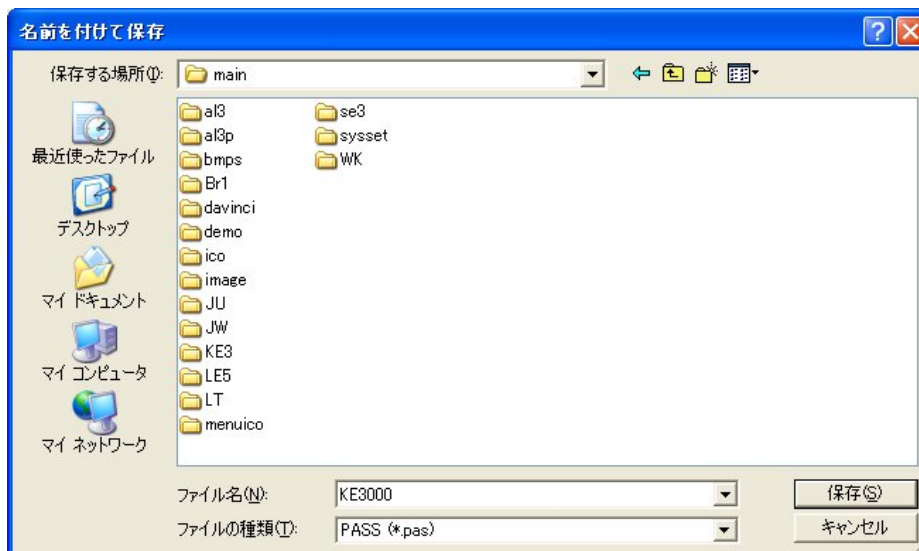
例：AL3000／AH3000の記録フォーマット選択画面



4-5 ファイル格納 (SAVE)



ボタンをクリックすると、下の設定ウィンドウが表示されますので、設定値の格納場所とファイル名を設定します。「保存」をクリックすると設定値が格納されます。



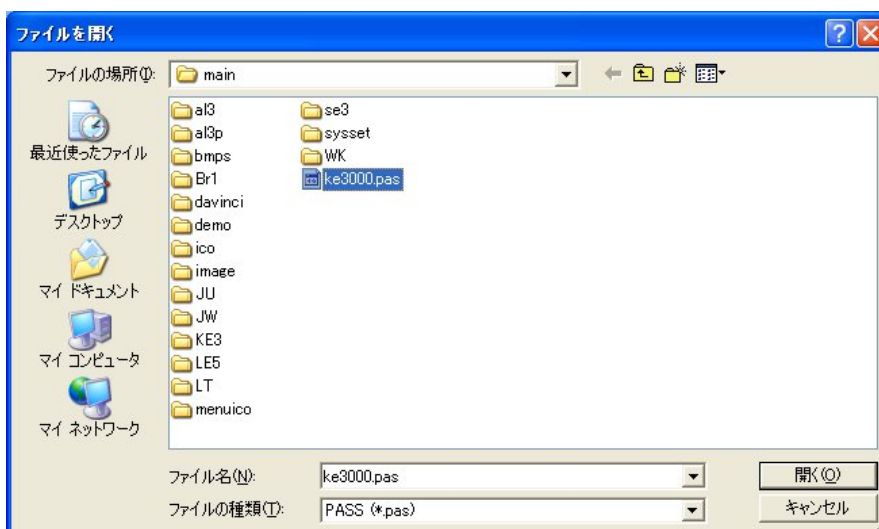
⚠ 注意

ファイル名は、任意につけられますが、拡張子は固定です。

4-6 ファイル読み出し (LOAD)




ボタンをクリックすると、下の設定ウィンドウが表示されますので、設定値の格納場所とファイル名を指定します。「開く」をクリックすると、設定値が読み出されます。









⚠ 注意

必ずSAVEで格納したファイルを選択してください。
SAVEで格納したファイル以外のファイルを選択したり、SAVEで格納したファイルの中を変更すると、PASSは終了することがあります。

4-7 データ一覧








 ボタンをクリックすると、下の画面が表示されます。

データ一覧

EXIT      

入力パラメータ				
CH1				
入力種類	RJ	バーンアウト	センサ補正	デジタルフィルタ
V	外部	未使用	0.000	弱
レンジ Min	レンジ Max	スケール Min	スケール Max	
-1.250	1.250	-1.250	1.250	
レベル1				
モード	設定値	ヒステリシス	待機	イベントディレイ
無し	0.000	0.000	無	0
レベル2				
モード	設定値	ヒステリシス	待機	イベントディレイ
無し	0.000	0.000	無	0
レベル3				
モード	設定値	ヒステリシス	待機	イベントディレイ
無し	0.000	0.000	無	0
レベル4				
モード	設定値	ヒステリシス	待機	イベントディレイ
無し	0.000	0.000	無	0
CH2				
入力種類	RJ	バーンアウト	センサ補正	デジタルフィルタ
K	内部	未使用	0.0	弱
レンジ Min	レンジ Max	スケール Min	スケール Max	
-200.0	500.0	-200.0	500.0	

各ボタンの意味は以下の通りです。

	画面を閉じます。
	印刷設定を行います。
	印刷プレビューが表示されます。
	印刷します。
	設定内容をExcel、テキスト、CSV形式で保存します。 (各メニューバーの「LOAD」でこのファイルを読み込むことは出来ません。)
	設定内容を一括送信します。※機種により表示しない場合もあります。
	ヘルプを表示します。

5. ご注意

5-1 異常終了時の処理

パソコンのメモリー環境、同時に起動しているアプリケーション、OSの異常、操作を実行できない状態の発生等により、突然に終了した場合は、再度起動して下さい。

5-2 バージョンアップするときのご注意

PASSは、適用機種追加や不具合修正のために、バージョンアップを行うことがあります。

PASSをバージョンアップするには、

①現在のバージョンをアンインストールする。(2-2 参照)

②新しいバージョンをインストールする。の2つの手順が必要です。

⚠ 注意

アンインストールは、「2-2」に説明するWindowsの『アプリケーションの追加と削除』で行ってください。
単純なファイルの削除（『ごみ箱』に移動）では、アンインストールできません。

CHINO

CHINO CORPORATION

本社・研究所 〒173-8632 東京都板橋区熊野町3-2-8 TEL(03) 3956-2111(大代) FAX(03) 3956-6762

東日本販売事業部

東京支店 〒173-8632 東京都板橋区熊野町3-2-8
TEL(03) 3956-2205(代) FAX(03) 3956-2477
東京営業所 〒173-8632 東京都板橋区熊野町3-2-8
TEL(03) 3956-2401(代) FAX(03) 3956-2477
立川営業所 〒190-0023 立川市柴崎町3-11-4 (千代田生命立川ビル)
TEL(042) 521-3081(代) FAX(042) 521-3082
千葉営業所 〒260-0016 千葉市中央区栄町4-2-11 (日本企業会館)
TEL(043) 224-8371(代) FAX(043) 227-5131
川崎営業所 〒210-0024 川崎市川崎区日進町7-1 (川崎日進ビル)
TEL(044) 200-9300(代) FAX(044) 200-9301
厚木営業所 〒243-0018 厚木市中町3-15-4 (厚木NIビル)
TEL(046) 295-9100(代) FAX(046) 295-9105
北部支店 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町2-81 (日本生命大宮アネックス)
TEL(048) 643-4641(代) FAX(048) 643-3687
大宮営業所 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町2-81 (日本生命大宮アネックス)
TEL(048) 643-4641(代) FAX(048) 643-3687
札幌営業所 〒060-0807 札幌市北区北七条西2-8 (札幌北ビル)
TEL(011) 757-9141(代) FAX(011) 758-8727
仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-17-24 (高裁前ビル)
TEL(022) 227-0581(代) FAX(022) 227-0583
新潟営業所 〒950-0087 新潟市中央区東大通1-2-30 (住友生命新潟ビル)
TEL(025) 243-2191(代) FAX(025) 243-7619
前橋営業所 〒371-0024 前橋市表町2-2-6 (前橋第一生命ビル)
TEL(027) 221-6611(代) FAX(027) 221-6011
水戸営業所 〒310-0011 水戸市三の丸1-4-73 (水戸三井ビル)
TEL(029) 224-9151(代) FAX(029) 231-5576

海外販売事業部 〒173-8632 東京都板橋区熊野町3-2-8
TEL(03) 3956-2171 FAX(03) 3956-0915
民生機器事業部 〒173-8632 東京都板橋区熊野町3-2-8
TEL(03) 3956-2131 FAX(03) 3956-8767

西日本販売事業部

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101 (大同生命江坂ビル)
TEL(06) 6385-7031(代) FAX(06) 6386-7202
大阪営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101 (大同生命江坂ビル)
TEL(06) 6385-7031(代) FAX(06) 6386-7202
大津営業所 〒520-0043 大津市中央3-1-8 (大津第一生命ビル)
TEL(077) 526-2781(代) FAX(077) 526-4549
岡山営業所 〒700-0984 岡山市桑田町1-8-28 (明治安田生命岡山桑田町ビル)
TEL(086) 223-2651(代) FAX(086) 223-1525
高松営業所 〒760-0023 高松市寿町2-2-10 (JPR高松ビル)
TEL(087) 822-5531(代) FAX(087) 822-0016
広島営業所 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1 (住友生命広島ビル)
TEL(082) 261-4231(代) FAX(082) 264-2377
福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-15-20 (アクサ福岡ビル)
TEL(092) 481-1951(代) FAX(092) 481-1954
北九州営業所 〒802-0081 北九州市小倉北区紺屋町13-1 (毎日西部会館ビル)
TEL(093) 531-2081(代) FAX(093) 521-2984
名古屋支店 〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1 (名古屋国際センタービル)
TEL(052) 581-7595(代) FAX(052) 561-2683
名古屋営業所 〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1 (名古屋国際センタービル)
TEL(052) 581-7595(代) FAX(052) 561-2683
静岡営業所 〒420-0853 静岡市葵区追手町2-1-2 (静岡安藤ビル)
TEL(054) 255-6136(代) FAX(054) 255-6137
富山営業所 〒930-0004 富山市桜橋通り2-2-5 (第一生命ビル)
TEL(076) 441-2096(代) FAX(076) 441-2098

機器事業部 〒375-8505 群馬県藤岡市森1
TEL(0274) 42-2111(代) FAX(0274) 42-2115
装置計装事業部 〒346-0028 埼玉県久喜市河原井町18 (久喜菖蒲工業団地4-2号)
TEL(0480) 23-2511(代) FAX(0480) 23-2514
センサ事業部 〒346-0028 埼玉県久喜市河原井町18 (久喜菖蒲工業団地4-2号)
TEL(0480) 23-2511(代) FAX(0480) 23-2514

製品に関するお問い合わせは

機器事業部 フリーダイヤル 0120-078945

または最寄りの支店・営業所、代理店までご連絡下さい。

※お問い合わせ時は形式コードと製造番号をお手元にご用意下さい。

【受付時間】9:00~17:00 月曜日~金曜日 (祝日を除く)

Printed in Japan